

2010年10月29日

2011年3月期 第2四半期 決算説明会

代表取締役社長
久芳 徹夫

本日のプレゼンテーション

1. 2011年3月期 第2四半期(6ヵ月通算)決算概要

2. 2011年3月期 第2四半期(3ヵ月)決算概要

3. 2011年3月期 業績予想

1. 2011年3月期 第2四半期(6ヵ月通算)決算概要

2011年3月期 6ヵ月通算 決算概要（前年同期比）（単位：億円）

	2010年3月期 6ヵ月通算		2011年3月期 6ヵ月通算		増減	
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	金額	率(%)
売上高	4,839	100.0	6,374	100.0	1,535	31.7
営業利益	89	1.8	818	12.8	729	823.0
税引前四半期純利益	171	3.5	895	14.0	724	421.9
当社株主に帰属する 四半期純利益	87	1.8	620	9.7	533	609.9
希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益(円)	47.56	—	337.62	—	290.06	—
設備投資額	136	2.8	327	5.1	191	141.0
減価償却費	298	6.2	268	4.2	-30	-10.2
研究開発費	260	5.4	235	3.7	-25	-9.8
平均為替レート	対ドル：95円	対ユーロ：133円	対ドル：89円	対ユーロ：114円		
為替変動による 影響額(前年同期比)	売上高	約-450億円	約-320億円			
	税引前 四半期純利益	約-135億円	約-140億円			

2011年3月期 6ヵ月通算 事業セグメント別売上高

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期 6ヵ月通算		2011年3月期 6ヵ月通算		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
■ ファインセラミック部品関連事業	215	4.4	367	5.8	152	70.4
■ 半導体部品関連事業	622	12.9	881	13.8	259	41.6
■ ファインセラミック応用品関連事業	669	13.8	956	15.0	287	43.0
■ 電子デバイス関連事業	945	19.5	1,236	19.4	291	30.8
部品事業 計	2,451	50.6	3,440	54.0	989	40.4
■ 通信機器関連事業	797	16.5	1,223	19.2	426	53.3
■ 情報機器関連事業	1,112	23.0	1,170	18.3	58	5.3
機器事業 計	1,909	39.5	2,393	37.5	484	25.3
■ その他の事業	578	11.9	681	10.7	103	17.7
調整及び消去	-99	-2.0	-139	-2.2	-40	—
売上高	4,839	100.0	6,374	100.0	1,535	31.7

2011年3月期 6ヵ月通算 事業セグメント別事業利益

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期 6ヵ月通算		2011年3月期 6ヵ月通算		増減	
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	率(%)
■ ファインセラミック部品関連事業	-36	—	53	14.5	89	—
■ 半導体部品関連事業	45	7.2	185	20.9	140	312.8
■ ファインセラミック応用品関連事業	44	6.5	157	16.4	113	259.6
■ 電子デバイス関連事業	3	0.3	222	18.0	219	—
部品事業 計	56	2.3	617	17.9	561	—
■ 通信機器関連事業	-75	—	19	1.6	94	—
■ 情報機器関連事業	84	7.5	144	12.3	60	72.3
機器事業 計	9	0.4	163	6.8	154	—
■ その他の事業	18	3.1	46	6.8	28	157.7
事業利益 計	82	1.7	826	13.0	744	903.7
本社部門損益	73	—	74	—	1	1.1
持分法投資損益	15	—	2	—	-13	-85.2
調整及び消去	1	—	-8	—	-9	—
税引前四半期純利益	171	3.5	895	14.0	724	421.9

2011年3月期 6ヵ月通算 決算要約

－ 前年同期比 －

円高の影響はあったものの、全てのセグメントで増収増益を達成

1. 部品事業：好調な事業環境及び生産能力増強による収益拡大

売上高：+989億円（+40.4%） 事業利益：+561億円（約11倍）

- デジタルコンシューマ機器、産業機械、自動車の各市場での部品需要の増加
- 国内外での補助政策の牽引による太陽光発電システムの需要拡大
- 旺盛な需要に対応した増産体制の確立
- 事業利益率は17.9%へ大幅に改善

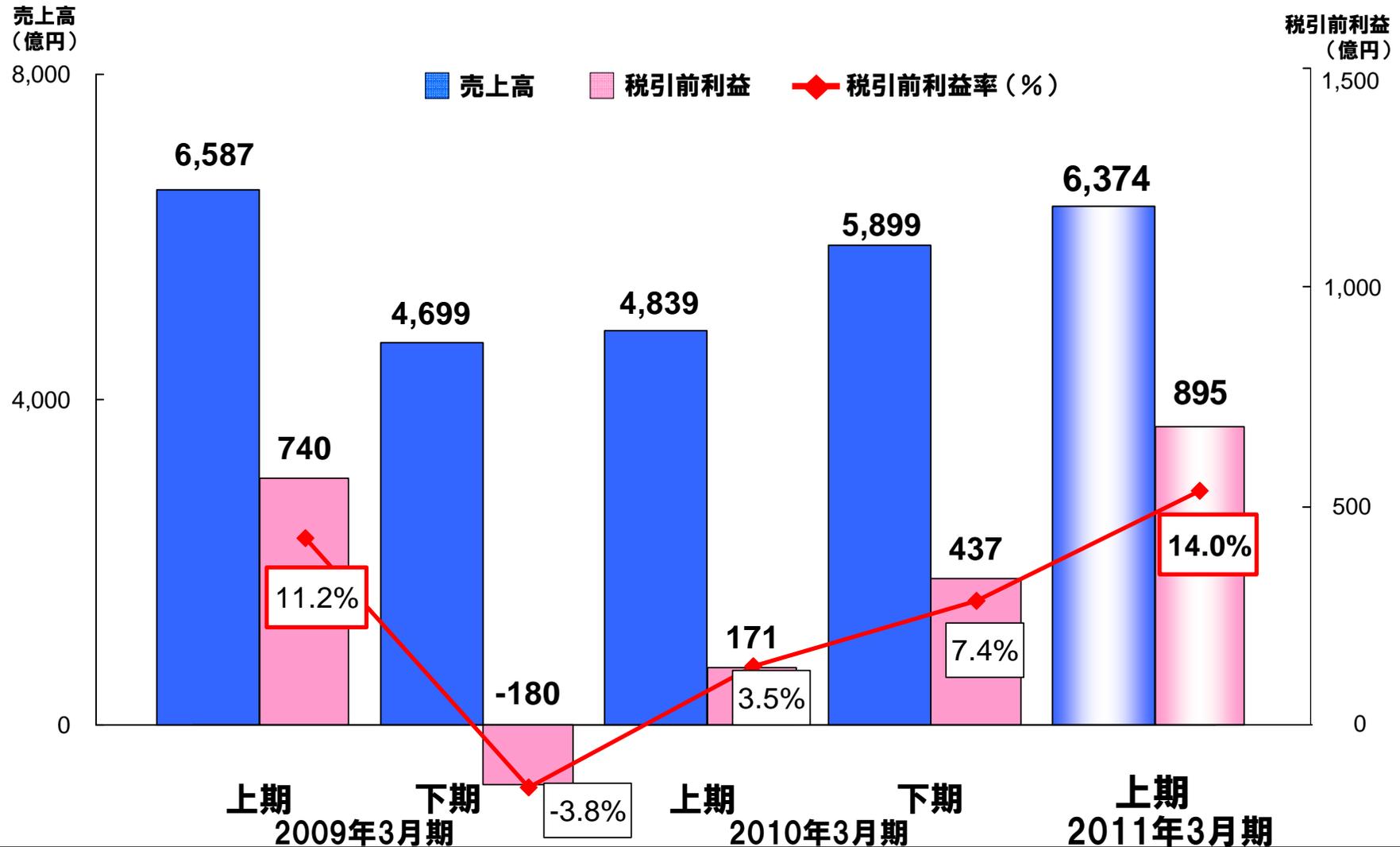
2. 機器事業：通信機器関連事業の大幅な収益改善

売上高：+484億円（+25.3%） 事業利益：+154億円（約19倍）

- 携帯電話端末のラインナップ拡充による大幅増収
- 海外での携帯電話端末事業の収益性改善により黒字化
事業利益は前年同期比94億円の改善

半期別業績推移

税引前利益及び利益率ともに2009年3月期上期を上回るまでに改善



2. 2011年3月期 第2四半期(3ヵ月)決算概要

2011年3月期 第2四半期(3ヵ月)決算概要 (第1四半期比)

(単位:億円)

	2011年3月期				増減	
	第1四半期		第2四半期		金額	率(%)
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)		
売上高	3,132	100.0	3,242	100.0	110	3.5
営業利益	406	13.0	412	12.7	6	1.4
税引前四半期純利益	463	14.8	432	13.3	-31	-6.8
当社株主に帰属する 四半期純利益	299	9.5	321	9.9	22	7.3
希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益(円)	162.89	—	174.74	—	11.85	—
設備投資額	120	3.8	207	6.4	87	72.5
減価償却費	127	4.1	141	4.3	14	10.9
研究開発費	114	3.6	121	3.7	7	6.1
平均為替レート	対ドル: 92円	対ユーロ: 117円	対ドル: 86円	対ユーロ: 111円		
為替変動による 影響額 (前四半期比)	売上高			約-110億円		
	税引前四半期純利益			約-35億円		

2011年3月期 第2四半期(3ヵ月) 事業セグメント別売上高

— 第1四半期比 —

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2011年3月期 第1四半期		2011年3月期 第2四半期		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
■ ファインセラミック部品関連事業	172	5.5	194	6.0	22	12.8
■ 半導体部品関連事業	428	13.7	453	14.0	25	5.9
■ ファインセラミック応用品関連事業	448	14.3	508	15.7	60	13.2
■ 電子デバイス関連事業	595	19.0	640	19.7	45	7.5
部品事業 計	1,644	52.5	1,795	55.4	151	9.2
■ 通信機器関連事業	648	20.7	575	17.7	-73	-11.2
■ 情報機器関連事業	585	18.7	585	18.1	0	0.1
機器事業 計	1,232	39.4	1,161	35.8	-71	-5.8
■ その他の事業	326	10.4	354	10.9	28	8.6
調整及び消去	-71	-2.3	-68	-2.1	3	—
売上高	3,132	100.0	3,242	100.0	110	3.5

2011年3月期 第2四半期(3ヵ月) 事業セグメント別事業利益

— 第1四半期比 —

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2011年3月期 第1四半期		2011年3月期 第2四半期		増減	
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	金額	率(%)
■ ファインセラミック部品関連事業	23	13.5	30	15.4	7	28.9
■ 半導体部品関連事業	90	21.0	95	20.9	5	5.4
■ ファインセラミック応用品関連事業	74	16.6	83	16.3	9	11.1
■ 電子デバイス関連事業	95	15.9	128	19.9	33	34.7
部品事業計	282	17.2	335	18.7	53	18.7
■ 通信機器関連事業	51	7.9	-32	—	-83	—
■ 情報機器関連事業	55	9.4	89	15.2	34	61.8
機器事業計	106	8.6	57	4.9	-49	-46.6
■ その他の事業	19	5.7	28	7.8	9	47.4
事業利益計	407	13.0	420	12.9	13	2.9
本社部門損益	59	—	15	—	-44	-73.9
持分法投資損益	2	—	0	—	-2	-90.6
調整及び消去	-5	—	-3	—	2	—
税引前四半期純利益	463	14.8	432	13.3	-31	-6.8

2011年3月期 第2四半期(3ヵ月) 決算要約

－ 第1四半期比 －

1. 部品事業の増収増益：高水準な部品需要の継続

- デジタルコンシューマ機器、産業機械、自動車市場向け部品の売上が増加
- ソーラーエネルギー事業の売上拡大
- 増収及び生産性向上により、全てのセグメントで15%を超える事業利益率を達成

2. 通信機器関連事業の収益減少

- 国内外市場での新製品投入の端境期
- 円高の影響
- ウィルコム向け債権の貸倒損失の追加計上： 約7億円

3. 2011年3月期 業績予想

2011年3月期 業績予想

(単位:億円)

	2010年3月期		2011年3月期 予想				増減金額	
	金額	売上高比 (%)	前回予想		今回予想			
			金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	前期比	前回予想比
売上高	10,738	100.0	12,000	100.0	12,600	100.0	1,862	600
営業利益	639	5.9	1,220	10.2	1,470	11.7	831	250
税引前当期純利益	608	5.7	1,320	11.0	1,600	12.7	992	280
当社株主に帰属する当期純利益	401	3.7	850	7.1	1,050	8.3	649	200
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	218.47	—	463.16	—	572.15	—	353.68	108.99
設備投資額	379	3.5	600	5.0	600	4.8	221	—
減価償却費	606	5.6	700	5.8	700	5.6	94	—
研究開発費	499	4.6	600	5.0	600	4.8	101	—

平均為替レート		2010年3月期		前回予想		今回予想	
		対ドル:93円	対ユーロ: 131円	対ドル: 88円	対ユーロ: 110円	対ドル: 85円	対ユーロ: 112円
為替変動による影響額(前期比)	売上高	約-490億円		約-650億円		約-800億円	
	税引前当期純利益	約-135億円		約-230億円		約-300億円	

2011年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期		2011年3月期				増減金額	
			前回予想		今回予想			
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	前期比	前回予想比
■ ファインセラミック部品関連事業	531	5.0	640	5.3	715	5.7	184	75
■ 半導体部品関連事業	1,405	13.1	1,580	13.2	1,720	13.6	315	140
■ ファインセラミック応用品関連事業	1,570	14.6	2,010	16.8	2,010	16.0	440	—
■ 電子デバイス関連事業	1,999	18.6	2,170	18.1	2,375	18.8	376	205
部品事業 計	5,505	51.3	6,400	53.4	6,820	54.1	1,315	420
■ 通信機器関連事業	1,891	17.6	2,000	16.7	2,280	18.1	389	280
■ 情報機器関連事業	2,324	21.6	2,430	20.2	2,360	18.7	36	-70
機器事業 計	4,215	39.2	4,430	36.9	4,640	36.8	425	210
■ その他の事業	1,246	11.6	1,420	11.8	1,420	11.3	174	—
調整及び消去	-228	-2.1	-250	-2.1	-280	-2.2	-52	-30
売上高	10,738	100.0	12,000	100.0	12,600	100.0	1,862	600

2011年3月期 事業セグメント別事業利益予想

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期		2011年3月期				増減金額	
			前回予想		今回予想			
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	前期比	前回予想比
■ ファインセラミック部品関連事業	-8	—	100	15.6	110	15.4	118	10
■ 半導体部品関連事業	172	12.3	250	15.8	335	19.5	163	85
■ ファインセラミック応用品関連事業	199	12.6	290	14.4	295	14.7	96	5
■ 電子デバイス関連事業	132	6.6	280	12.9	395	16.6	263	115
部品事業 計	495	9.0	920	14.4	1,135	16.6	640	215
■ 通信機器関連事業	-147	—	60	3.0	60	2.6	207	—
■ 情報機器関連事業	221	9.5	221	9.1	245	10.4	24	24
機器事業 計	74	1.7	281	6.3	305	6.6	231	24
■ その他の事業	68	5.4	78	5.5	85	6.0	17	7
事業利益 計	637	5.9	1,279	10.7	1,525	12.1	888	246
本社部門損益等	-29	—	41	—	75	—	104	34
税引前当期純利益	608	5.7	1,320	11.0	1,600	12.7	992	280

2011年3月期 通期業績予想の修正要因

1. 部品事業：期初予想を上回る良好な事業環境

- スマートフォンなどの高機能デジタルコンシューマ機器の需要増加
 - 産業機械、自動車市場での生産回復
- ▶ 期初予想に対し、部品事業の売上高・事業利益は大幅に増加
 前回予想比 売上高：+420億円 事業利益：+215億円

2. 機器事業：通信機器関連事業での販売増加

- 携帯電話端末の売上高は期初予想を大きく上回って推移
 - 情報機器関連事業の収益性改善
- ▶ 前回予想比 売上高：+210億円 事業利益：+24億円

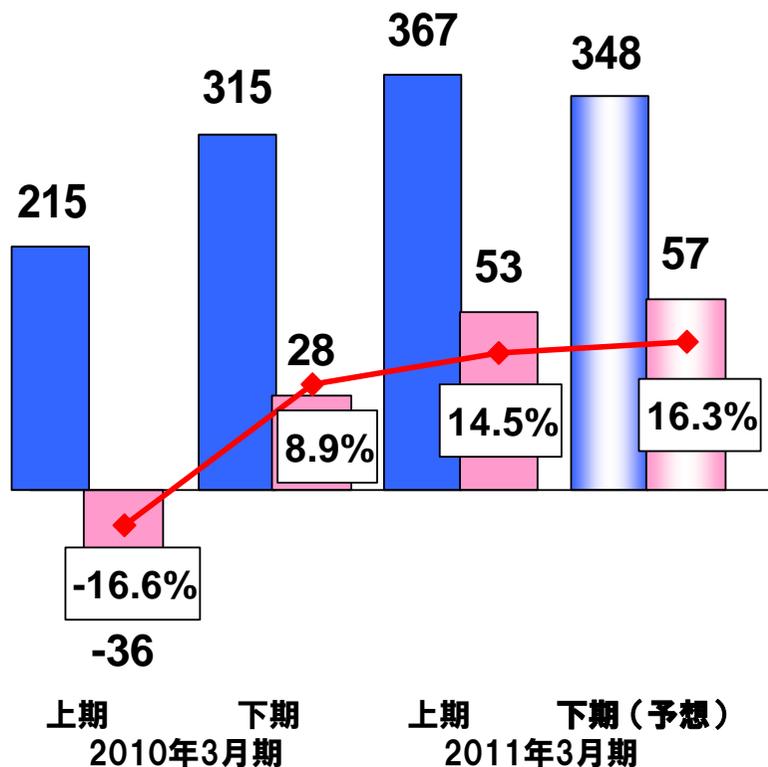
事業セグメント別 下期の取組み

ファインセラミック部品関連事業

売上高・事業利益推移

(単位:億円)

■ 売上高 ■ 税引前利益 ◆ 税引前利益率(%)



下期の市場見通し

- デジタルコンシューマ機器向けの需要は弱含み
- 欧州自動車市場での環境対応エンジン向けの需要増加

下期の取組み

- 半導体製造装置用部品の拡販
- ピエゾ素子、グロープラグなどの環境対応エンジン向け部品の拡販
- 一層の生産性向上による収益性改善



半導体製造装置用部品



ピエゾ素子

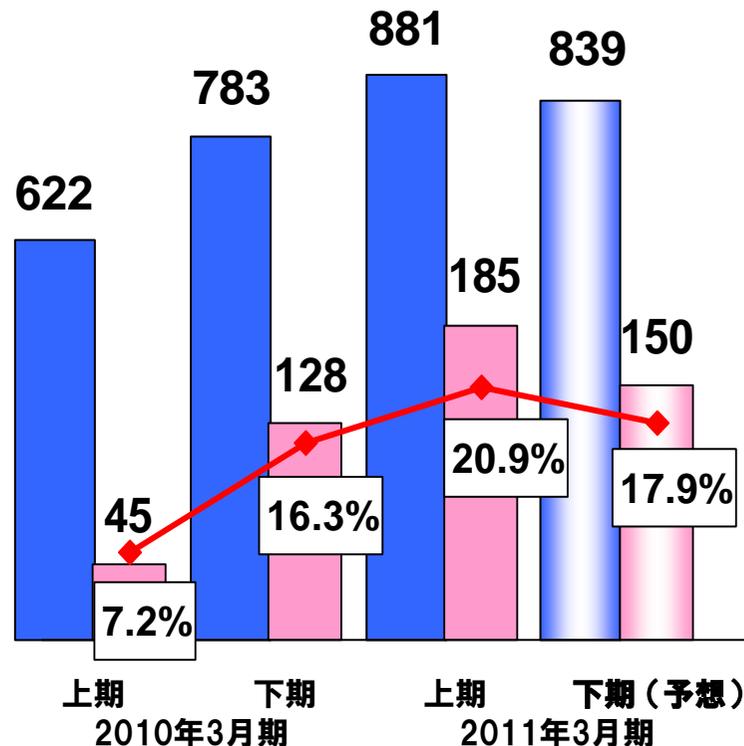
事業セグメント別 下期の取組み

半導体部品関連事業

売上高・事業利益推移

(単位:億円)

■ 売上高 ■ 税引前利益 ◆ 税引前利益率(%)

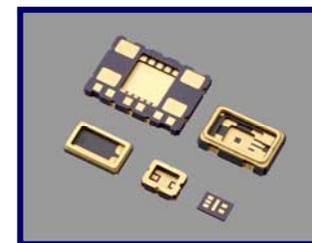


下期の市場見通し

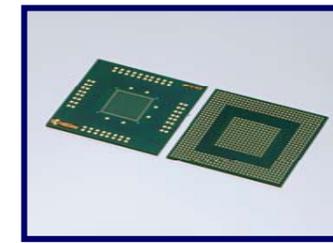
- スマートフォンなどの高機能デジタル
コンシューマ機器の需要は堅調に推移
- サーバー関連市場での生産調整

下期の取組み

- 携帯電話端末向けセラミックパッケージ
の拡販及び生産能力拡大
- ASIC用有機パッケージの拡販



水晶/SAW用
セラミックパッケージ



ASIC用
有機パッケージ

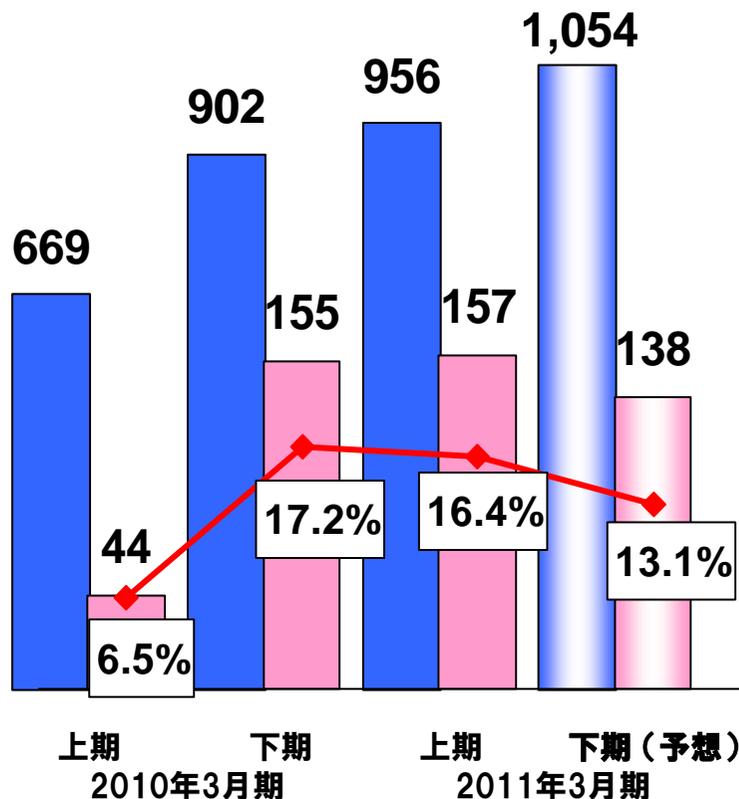
事業セグメント別 下期の取組み

ファインセラミック応用品関連事業

売上高・事業利益推移

(単位:億円)

■ 売上高 ■ 税引前利益 ◆ 税引前利益率(%)



ソーラーエネルギー事業

下期の市場見通し

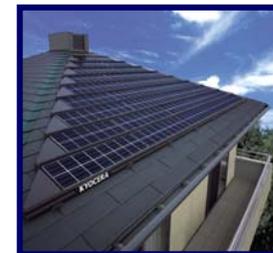
- 国内外市場での需要拡大
- 製品価格の下落

下期の取組み

- セル生産600MWに向けた生産能力の増強
- 天津でのモジュール新工場棟の完成
- 高効率化及び生産性向上の推進



四国電力「松山太陽光発電所」
(愛媛県松山市)



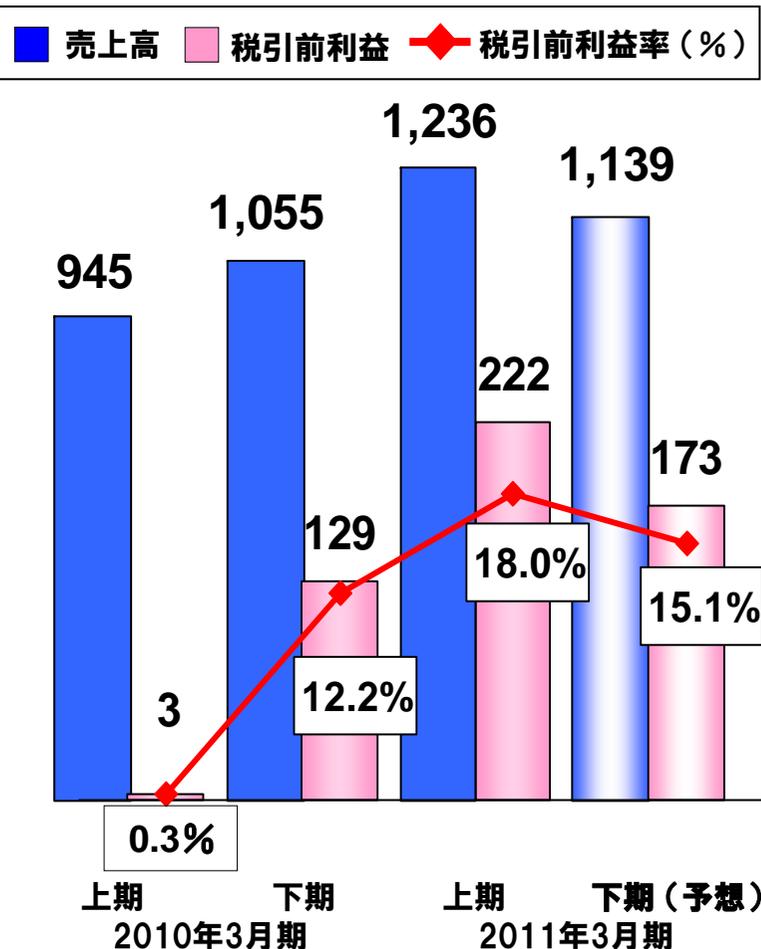
住宅用太陽電池

事業セグメント別 下期の取組み

電子デバイス関連事業

売上高・事業利益推移

(単位:億円)

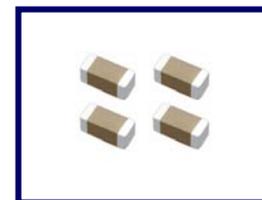


下期の市場見通し

- スマートフォンは堅調に推移するものの、従来の携帯電話端末、PC、薄型TVの生産調整を予想

下期の取組み

- 小型・高容量コンデンサ、TCXOの拡販
- 中国市場の開拓



小型高容量コンデンサ



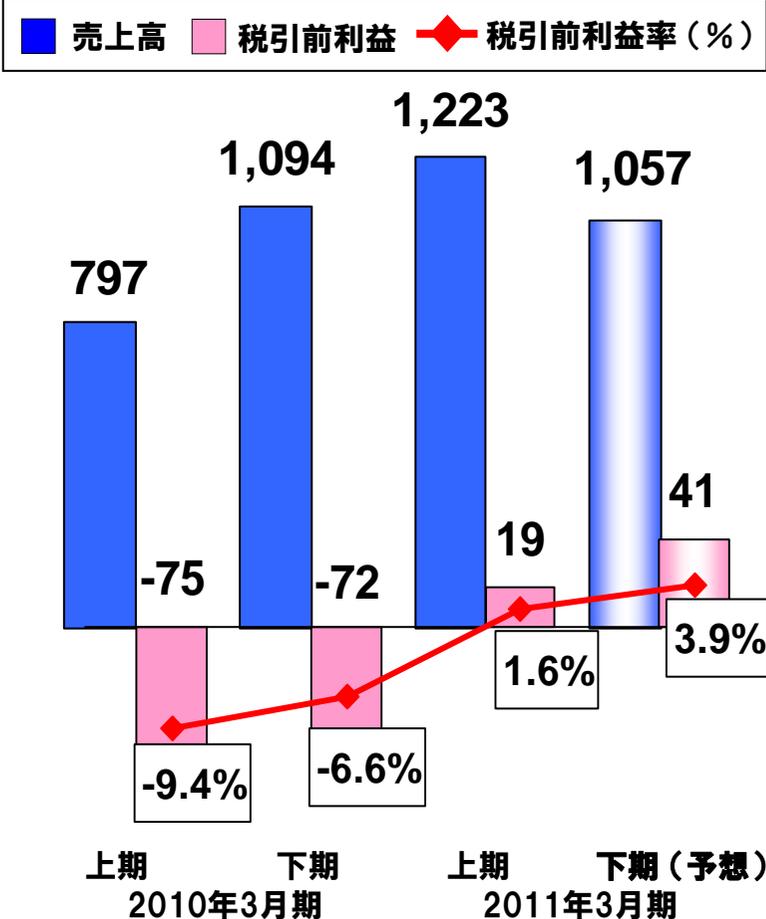
TCXO

事業セグメント別 下期の取組み

通信機器関連事業

売上高・事業利益推移

(単位:億円)



下期の市場見通し

- 北米市場でのスマートフォン需要の拡大
- 国内での端末需要の鈍化
- PHS端末の需要回復

下期の取組み

- 米国市場でのスマートフォン”Zio”の拡販
- 国内市場での買い換え需要の獲得
- PHS端末の新製品投入

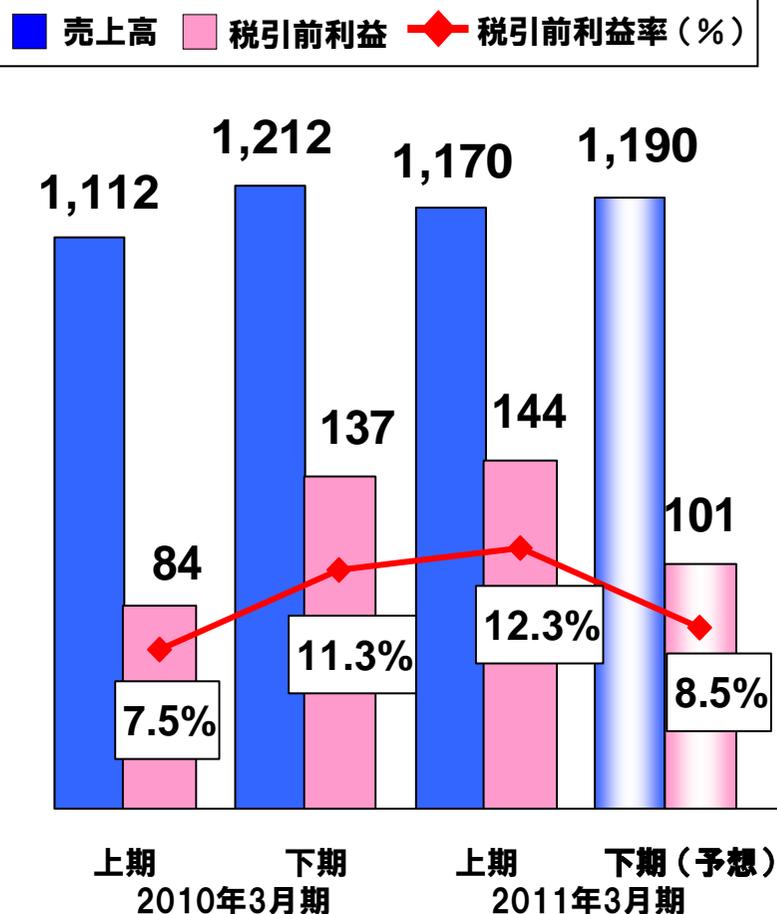


事業セグメント別 下期の取組み

情報機器関連事業

売上高・事業利益推移

(単位:億円)



下期の市場見通し

- 先進国での情報化投資の緩やかな回復
- 新興国でのMFP及び低価格プリンターの需要増加

下期の取組み

- カラープリンター・MFPのラインナップ拡充
- 新興国市場でのA4MFP及び低価格帯プリンターの販売拡大



カラー A3 MFP
TASKalfa 552Ci



カラー A4 MFP **NEW**
FS-C2126MFP



モノクロ A4 MFP **NEW**
FS-C3140MFP

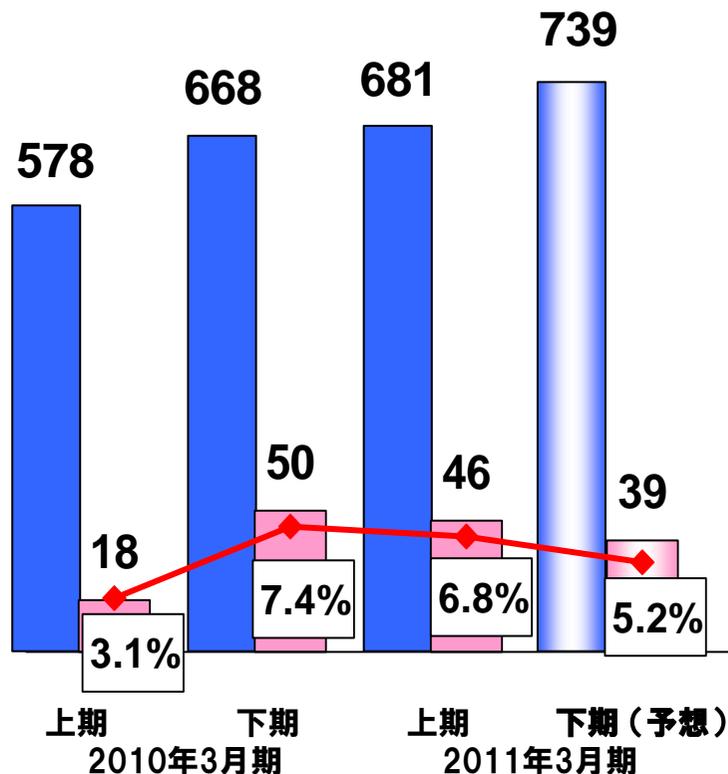
事業セグメント別 下期の取組み

その他の事業

売上高・事業利益推移

(単位:億円)

■ 売上高 ■ 税引前利益 ◆ 税引前利益率(%)



京セラコミュニケーションシステム(株)

下期の市場見通し

- ICT事業は需要増加が見込まれるものの、価格競争は激化
- 通信エンジニアリング事業での競争激化

下期の取組み

- ICT事業の売上拡大
- ウィルコム関連の事業機会の獲得

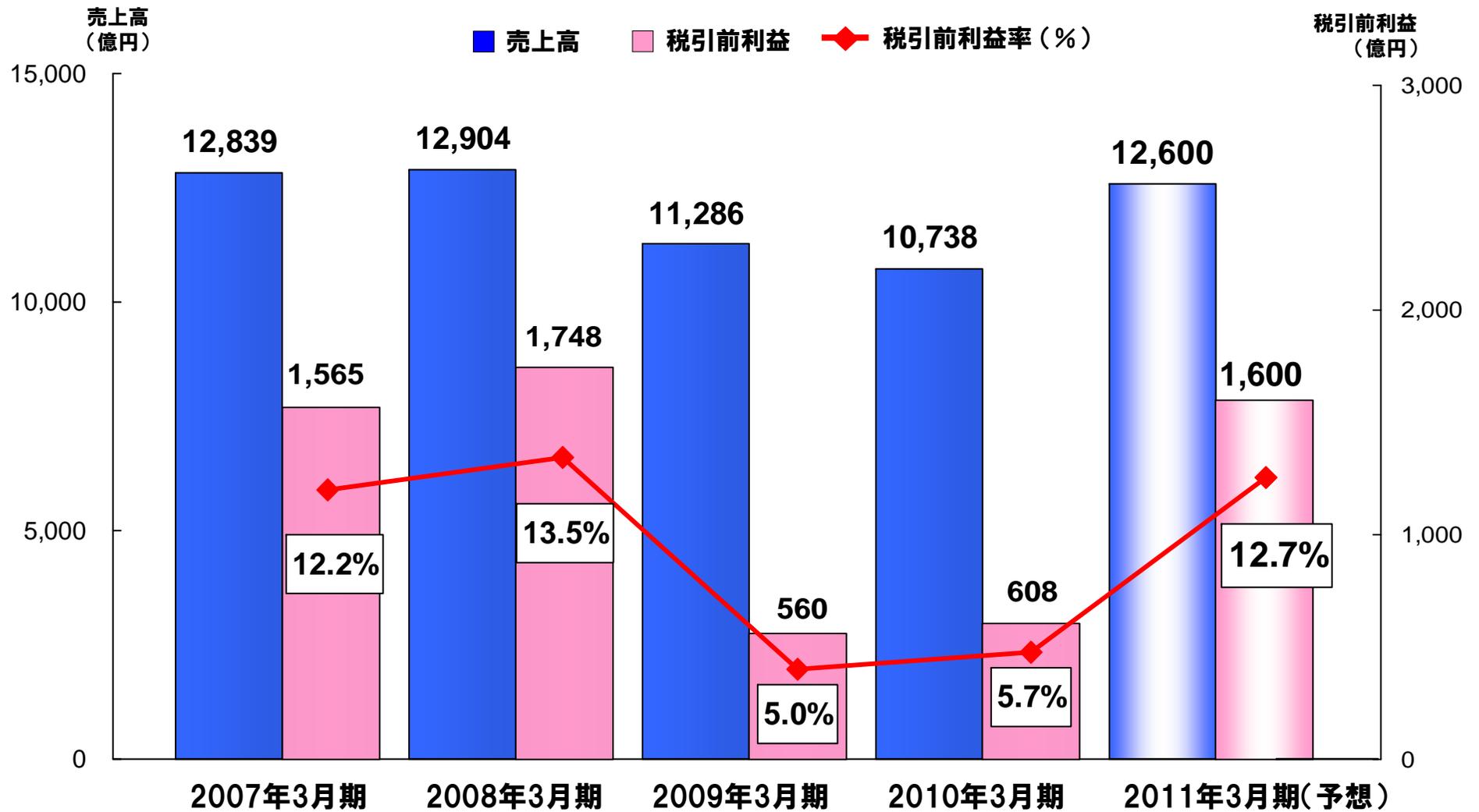


データセンター



基地局設置関連事業

2011年3月期 通期業績予想の達成



補足資料

2011年3月期 第2四半期(3ヵ月)決算概要 (前年同期比)

(単位:億円)

	2010年3月期 第2四半期		2011年3月期 第2四半期		増減	
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	金額	率(%)
売上高	2,585	100.0	3,242	100.0	657	25.4
営業利益	144	5.6	412	12.7	268	185.2
税引前四半期純利益	164	6.4	432	13.3	268	162.5
当社株主に帰属する 四半期純利益	92	3.6	321	9.9	229	249.0
希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益(円)	50.06	—	174.74	—	124.68	—
設備投資額	80	3.1	207	6.4	127	159.8
減価償却費	150	5.8	141	4.3	-9	-6.1
研究開発費	129	5.0	121	3.7	-8	-6.3
平均為替レート	対ドル: 94円 対ユーロ: 134円		対ドル: 86円 対ユーロ: 111円			
為替変動による 影響額 (前年同期比)	売上高	約-260億円		約-200億円		
	税引前四半期純利益	約-80億円		約-85億円		

2011年3月期 第2四半期(3ヵ月) 事業セグメント別売上高

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期 第2四半期		2011年3月期 第2四半期		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
■ ファインセラミック部品関連事業	123	4.8	194	6.0	71	58.7
■ 半導体部品関連事業	341	13.2	453	14.0	112	32.7
■ ファインセラミック応用品関連事業	370	14.3	508	15.7	138	37.2
■ 電子デバイス関連事業	491	19.0	640	19.7	149	30.4
部品事業 計	1,325	51.3	1,795	55.4	470	35.5
■ 通信機器関連事業	429	16.6	575	17.7	146	33.9
■ 情報機器関連事業	574	22.2	585	18.1	11	2.0
機器事業 計	1,003	38.8	1,161	35.8	158	15.7
■ その他の事業	310	12.0	354	10.9	44	14.3
調整及び消去	-53	-2.1	-68	-2.1	-15	—
売上高	2,585	100.0	3,242	100.0	657	25.4

2011年3月期 第2四半期(3ヵ月) 事業セグメント別事業利益

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2010年3月期 第2四半期		2011年3月期 第2四半期		増減	
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	率(%)
■ ファインセラミック部品関連事業	-8	—	30	15.4	38	—
■ 半導体部品関連事業	28	8.2	95	20.9	67	240.0
■ ファインセラミック応用品関連事業	32	8.8	83	16.3	51	155.0
■ 電子デバイス関連事業	26	5.3	128	19.9	102	392.8
部品事業計	78	5.9	335	18.7	257	327.6
■ 通信機器関連事業	-21	—	-32	—	-11	—
■ 情報機器関連事業	63	10.9	89	15.2	26	42.2
機器事業計	41	4.1	57	4.9	16	37.8
■ その他の事業	18	5.9	28	7.8	10	51.3
事業利益計	138	5.3	420	12.9	282	204.4
本社部門損益	22	—	15	—	-7	-30.6
持分法投資損益	4	—	0	—	-4	-95.5
調整及び消去	1	—	-3	—	-4	—
税引前四半期純利益	164	6.4	432	13.3	268	162.5

将来予想に関する注意事項

この資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。かかる将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。(1)当社が関連する市場における経済状況(主に、日本、北米、欧州及びアジア(特に中国))。(2)当社が事業を行なう国における経済・政治・法律面での予測し得ない条件の変化。(3)競争の激しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場において、当社が革新的な製品を開発・生産し、品質・納期を含めて顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力の不確実性。(4)社外委託工程や自社内製造過程で生じる遅れや不具合の発生。(5)円高、政治・経済情勢、売掛金回収リスク、製品の価格競争力の低下、輸送経費の増大、海外事業への人材配置・管理の問題、知的財産権の保護の不十分性等、輸出に影響する可能性がある要素。(6)売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)の対円為替相場の変動。(7)当社の顧客の財務状態の悪化による売掛債権の回収リスク。(8)エンジニアリング・技術部門での熟練労働者の確保の不確実性。(9)機密保持及び特許権等の知的財産権の保護の確保が不十分である事態。(10)製品を製造・販売する為に必要となるライセンスの継続的確保の不確実性。(11)今後の取り組み及び現在進行中の研究開発が期待される成果を生み出さない事態。(12)買収した会社や取得した資産に関連して想定以上の統合費用が発生し、期待される収益又は事業機会が得られない事態。(13)テロ行為、疾病、紛争の発生等、当社の市場やサプライチェーンに悪影響を与える要素。(14)製造施設その他主要な事業関連施設が存在する地域における地震などの自然災害の発生。(15)国内外の環境規制強化に伴う当社の賠償責任や費用負担の増大。(16)保有する有価証券及びその他の資産の時価の変動、減損処理の発生。(17)繰延税金資産及び法人税等の不確実性。(18)会計基準の変更。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。